

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

9月10日に祝津ホタテ養殖漁場の「かみ」、「なか」、「しも」の3カ所で、表層から水深30mまで3層にわけて浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした（表1）。また、試験籠に設置した付着板にもザラボヤは確認されませんでした。試験籠にザラボヤ1個体（約20mm）の付着を確認しました。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温 【℃】	クロロフィル 【μg/L】	ザラボヤ		ユウレイボヤ		その他のホヤ		ヒトデ		フジツボ	
				個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ
かみ	0~10m	22.5~23.9	0.1~1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10~20m	22.9~23.7	0.1~0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~30m	22.8~22.9	0.2~0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
なか	0~10m	23.2~23.9	0.1~0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10~20m	22.9~23.2	0.1~0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~30m	22.6~22.9	0.1~1.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
しも	0~10m	23.3~24.3	0.1~0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10~20m	22.9~23.2	0.1~0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~30m	22.7~22.9	0.1~0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



図1 試験籠へ付着したザラボヤ

【参考資料】

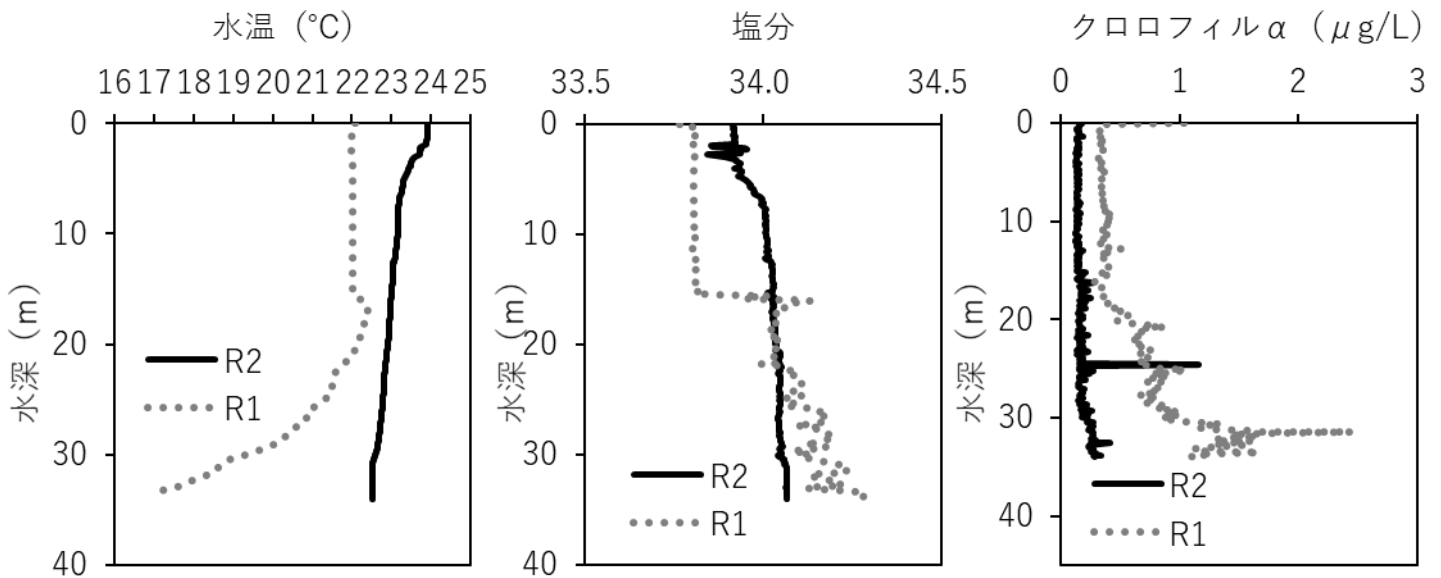


図2：「なか」の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布。破線は前年同期の値を示す。

ホタテガイ施設周辺の海洋環境を調査しました（図2）。前年同期は水深 15m付近に躍層が見られましたが、今年は躍層が発達しておらず、水温、塩分、クロロフィルともに表層から底層までほぼ一様な値を示しています。水温は表層から底層にかけて高い傾向にあり、幹綱がある水深帯（15m）では前年に比べて 1.0℃、底層では 5.5℃高いことがわかりました。

©ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：10月中旬に実施予定）。

※調査結果は中央水産試験場 HP から確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd000002m9a.html>